

地域スポーツ活動の課題

長与町は5年度当初から土日の部活動地域移行を実施しており、長崎県内だけでなく全国的にもその先駆けとして知られています。子どもからお年寄りまで幅広く、スポーツを通して健全で明るい生活を送ることを目的として長与スポーツクラブが早くから機能し、他地域に比べて準備態勢が整っていたこと、町民の理解あってこそその成果だと考えます。県内他地域においては、学校数が多いところや学校同士の距離の遠さ、指導者の確保など難問を抱え、早期の移行達成が厳しい自治体も少なくありません。

教員の働き方の改善、指導者による専門的な指導、場所の確保などのメリットがある反面、会費の保護者負担や送迎、運営組織の資金繰りなど課題も多くありますが、部活動改革を進めるうえで大切にしたいことは、“生徒第一”の基本姿勢を保ちながら変革していくことだと思います。

部活動改革

中総体

全国中学校体育大会（全中）全19競技に学校外の地域スポーツクラブが参加できるようになります。日本中体連が出場資格を広げたためです。このことを受け、長崎県中体連も今年の中総体から地域スポーツクラブの出場を認める見解を示しました。

長崎県では、県内から17競技、80以上のクラブ約500名の申込みがありました。各市町の予選には出場しないのですが、申し込んだからといって簡単には参加はできません。長与町ではバスケットボールが地域クラブとしての条件を満たしているということで地区予選なしに県大会の参加が認められています。その他の競技は県大会の出場枠をねらって各競技団体が主催する予選会が実施されます。また、サッカーは、クラブユース連盟に加盟登録しているクラブは申込できないなど全国大会出場のチャンスを中学校と平等にするため制限をかけていますし、申込はしたものの、競技によっては参加資格不適で予選出場できない場合も考えられます。それぞれの競技の特性に応じて、また会場確保・審判員確保を考慮して出場枠が決められますから地区予選同様厳しい戦いになります。

今後、部活動の地域移行が各市町で進められますが、本来のねらいと異なり、競技能力の高い中学生を集めるような勝利至上主義のクラブチームができることも懸念されています。部活動改革は始まったばかり、いろんな課題が浮き彫りになってきそうですが、今年の中総体大会がどのように運営されるか、地域クラブと中学校がどういう戦いをするのかなど楽しみな一面もあります。西彼杵郡地区予選は5月27～28日、中総体は7月22～24日開催です。

NSC（長与スポーツクラブ）

入会募集継続中 新1年生の皆さんの入会を歓迎します。
見学自由（会場のコーチリーダーに申し出てください）

熱中症注意 こまめな水分補給を行いましょ

NSCの入会
フォーム

